

ANDGATE METHODS

プロジェクト診断スキル 活用ガイド

本ダウンロードコンテンツについて

本ドキュメントは、ANDGATE METHODS「CAPDで回す炎上プロジェクト」の思想を、4ベースライン診断→発火源の特定→最悪ケースの見積り→着地シナリオの比較→実践シートへの入力まで再現するためのClaude専用スキルの活用ガイドです。

■ 最短で試す3ステップ（Claude Cowork の場合）

1. 配布ZIPを、Claude Cowork の「Customize」→「Skills」→「Upload a skill」からアップロードする（ZIPの展開は不要）
2. チャットで「プロジェクトが炎上してます。診断してください」と送る（資料がなければ口頭の説明でOK）
3. 診断のあと「診断結果を、実践シートに貼り付けられる形で出して」と送り、出てきた入力案を、ZIPを展開した [worksheet/](#) 内のExcelに貼り付ける

Claude Desktop・Claude Code の場合は「使い方1」「使い方3」をご覧ください。

■ 推奨環境

- **OS**：macOS / Windows
- 推奨ツールおよびモデル：
 - **Claude Desktop**（一般利用者向け）：Opus 4.7 推奨 / Sonnet 4.6 でも簡易診断は可能
 - **Claude Code**（開発者・CLI利用者向け）：Opus 4.7 推奨
 - **Claude Cowork**（チーム並行作業向け）
- 配布形式：ZIP形式

■ ご利用の際の注意点

- **PC環境を推奨**：ZIPファイルの展開やプロンプトのコピー＆ペースト操作が必要なため、WindowsまたはMacのPC環境での操作を強く推奨します。スマートフォン、タブレット、Chromebook等での動作確認は行っておりません。
- **他環境での動作**：上記以外のOSや、旧バージョンのAIモデル、他社生成AI（ChatGPT等）では、設計通りの動作にならない、あるいは十分なパフォーマンスを発揮できない場合があります。
- **仕様変更**：AIモデルのアップデート等により、予告なく動作や出力結果が変化する場合があります。あらかじめご了承ください。

プロジェクト診断スキル

ANDGATE METHODS「CAPDで回す炎上プロジェクト」に基づき、炎上・停滞プロジェクトの現状を診断するClaude専用スキルです。CAPD（Check→Act→Plan→Do）のうち、C（Check）フェーズを半自動化します。

状況をヒアリングして4ベースライン（スコープ・スケジュール・コスト・PMB）で健康診断し、止血（Act）にすぐ動けるよう、着地シナリオ比較表も先出しで出力します。診断結果は、同梱の「CAPD炎上プロジェクト対応 実践ガイド」（Excel）に貼り付けられる入力案としても出力できます。

成果物	効果
健康診断レポート	4ベースラインの判定（正常・要注意・炎上中）・発火源・最悪ケース（3日後）・緊急アクションの時系列表。上位者・顧客への第一報の材料になる。
着地シナリオ比較表	ベスト／リアル／ワーストの3シナリオを、Q（スコープ・品質）・C（コスト）・D（納期）で比較。推奨シナリオと根拠、エスカレーション時の提示方法付き。
実践シート入力案	実践ガイド（Excel）のPart1～3の黄色セルとPart4の発火源判定に貼り付ける文章を、セルごとに出力。連続した範囲は、1回で貼れる「一括貼り付け用」も付く。
前回診断との比較（再診断モード）	ベースライン判定の推移、前回アクションの消化状況、新出論点・解消論点を、出力の最上部に追加。

こんなときに使えます

- 納期が近づいているのに残タスクが多すぎる
- 仕様変更が重なって当初計画が崩れている
- 担当者が抜けて引き継ぎが追いつかない
- 外部ベンダーの遅延でスケジュールが狂った
- 「どう着地するか」を上司や顧客に説明しなければならない
- CAPDの再Checkで、前回診断との差分を取りたい

想定しないユースケース

- 実践シート（Excel）への自動書き込み → 入力案を出力するだけです。貼り付けは手作業で行います
- 決裁者・採用シナリオ・実施済みの判断 → 人が決める項目のため、入力案は作りません
- コードやログの解析による技術的な原因調査 → 本スキルは診断と着地案の整理が対象です
- 変更合意書など契約・法務文書の作成 → 合意内容を書面で残すよう案内するまでです

禁止事項

以下の情報は入力しないでください。

- 個人名（社員名・顧客名の実名）
- 認証情報
- 契約金額・単価の具体的数値

人物は「PM」「A社」など、ロール名や仮名で記述してください。スキルは上記を検知した場合、処理を中断して匿名化を促します。

書き方のルール

精神論を避けるため、診断・シナリオ・入力案のすべてで、次のルールを守るよう設計しています。

- 「誰が・何を・いつまでに」が分かる書き方にする。「連携を密にする」のような、どの案件にも言える一般論は書かない
- 確認できていないことは「未確認（要確認）」と書き、推測で埋めない
- 追加費用の請求や契約内容の変更など、契約・費用への影響が大きい手は、推奨として断定しない。選択肢の一つとして示し、「契約担当に要確認」と添える

ファイル構成

```
None
project-recovery-v2/
  SKILL.md                # スキル本体
  README.pdf              # 本ファイル
  templates/              # 出力テンプレート
    health-check-template.md # 健康診断レポート
    landing-scenario-template.md # 着地シナリオ比較表
    input-assist-template.md  # 実践シート入力案
  references/
    worksheet-cell-map.md     # 実践シートのセル対応表
  worksheet/
    CAPD炎上プロジェクト対応_実践ガイド.xlsx
```

使い方1：Claude Desktop で使う（推奨）

Claude Desktop の「プロジェクト」機能を使ってスキルを登録します。

Step 1: プロジェクトを作成する

1. Claude Desktop を開く
2. 左サイドバーの検索欄の下にある プロジェクト をクリック
3. 「新しいプロジェクトを作成」 をクリック
4. プロジェクト名を入力（例: プロジェクト診断スキル）

Step 2: プロジェクトナレッジにファイルを追加する

プロジェクト画面の右側にある「プロジェクトナレッジにコンテンツを追加する」 から、以下のファイルをアップロードします。

#	ファイル	説明
1	SKILL.md	スキル本体。Claudeへの指示が記述されています。
2～4	templates/ 配下（3ファイル）	各成果物の出力テンプレート。Claudeが生成した内容の清書用として使用します。
5	references/ 配下（1ファイル）	実践シートのセル対応表。入力案を作るときに内部で参照します。

ポイント: worksheet/ 配下の実践シート（Excel）は、プロジェクトナレッジには登録しません。手元のPCで開き、Claudeが出した入力案を貼り付けて使います。

Step 3：カスタム指示を設定する（任意）

プロジェクト画面の「カスタム指示を設定」に、以下のように追記するとより効果的です。

None

あなたはプロジェクトナレッジに登録された「プロジェクト診断スキル」を活用して回答してください。
炎上・停滞プロジェクトに関する相談があった場合は、SKILL.md に記載されたワークフローに従って支援を行ってください。

Step 4：使ってみる

プロジェクト内のチャットで、自然言語で依頼するだけでOKです。スキルを起動すると、最初に「何かインプットはありますか？」と聞かれます。議事録・課題一覧などの資料があれば渡してください。資料がなければ、口頭での状況説明だけでも診断できます。不足している情報は、1問ずつヒアリングで補われます。

None

例：診断を始める

プロジェクトが炎上してます。診断してください

例：着地点を相談する

間に合わない。どう着地させればいい？

例：実践シートに入力する

診断結果を、実践シートに貼り付けられる形で出して

実践シートに入力する流れ

診断のあと、実践シート（[worksheet/](#) 内のExcel）の黄色セルを埋める作業をClaudeが支援します。シートは編集せず、セルごとの入力案を出力します。

1. 診断（健康診断レポート・着地シナリオ比較表）を済ませる
2. 「実践シートの入力案を出して」と依頼する
3. Claudeが[\[プロジェクト略称\]_実践シート入力案.md](#)を出力する
4. Excelを開き、入力案の「セル」列と同じシート・同じセルに貼り付ける（Part1・Part2の結合セルはB列のセルに貼ります）
5. 「空欄のまま」と案内された欄を、自分で記入する。「未確認」の項目は、確認できてから書き換える

記入例シートで書き方を確認する

実践シートには「記入例（架空案件）」シートが付いています。架空の案件（A社の予約管理システム刷新）で、Part1～4をどの粒度・どの文字数で書くかを見られます。迷ったときの見本として使ってください。記入欄ではありません。内容はすべて例示用の作り話なので、自分の案件の事実に置き換えてお使いください。

一括貼り付けを使う

連続した入力セルは、入力案の末尾にある「一括貼り付け用」で、まとめて貼れます。範囲の左上のセルを1つだけ選んで貼り付けてください。

貼り付け先	形	貼る前に選ぶセル
Part1 4ベースライン	4行 × 3列	B11
Part2 応急処置3点	3行 × 1列	B13
Part3 3シナリオ	3行 × 4列	B5
Part4 発火源の判定	4行 × 1列	D5

注意：列の区切りにはタブ文字を使っています。コピーの過程でタブがスペースに変わると、全部が1つのセルに入ってしまいます。最初にPart1で試し、3列に分かれなければ、セルごとの入力案を使ってください。

シート別の入力範囲

シート	Claudeが入力案を作る欄	空欄のまま（人が決める・測る）
Part1 初動30分チェックシート	情報収集の3軸、4ベースライン（当初の計画・現状・乖離の内容）	なし
Part2 応急処置ワークシート	第一報、共有先、最悪ケース、応急処置3点の対象・内容	実施済み、備考
Part3 着地シナリオ提案シート	3シナリオ × 納期・コスト・品質スコープ・前提条件	決定者、採用したシナリオ・決定日
Part4 発火源別対処チェックリスト	発火源4種の「該当する」（はい／いいえ）	対処状況、鎮火判定

使い方2：Claude Cowork で使う

非エンジニアの方には、デスクトップアプリ「Claude Cowork」からのご利用を推奨します。スキルのインストールはGUI操作のみで完結します。

配布ZIPファイルをそのまま使用します。ZIPを展開する必要はありません。

Step 1: スキルをアップロードする

1. Claude Cowork を開く
2. 右上の「Customize」をクリック
3. 「Skills」タブを選択
4. 「+」ボタンをクリックし、「Upload a skill」を選択
5. 配布ZIPファイルを選択してアップロード

Step 2: 使ってみる

アップロード後は、チャット画面から自然言語で話しかけるだけでOKです。操作方法はClaude Desktop と同様です。

None

例：診断を始める

プロジェクトが炎上してます。診断してください

実践シート（Excel）は、ZIPを展開した `project-recovery-v2/worksheet/` フォルダにあります。

使い方3：Claude Code（CLI版）で使う

開発者の方や、ターミナルから利用される場合は、以下のパスに配置してご利用ください。まずZIPを展開し、フォルダをコピーします。

None

```
cp -r project-recovery-v2 ~/.claude/skills/project-recovery-v2
```

またはシンボリックリンクで登録する場合：

None

```
ln -s "$(pwd)/project-recovery-v2" ~/.claude/skills/project-recovery-v2
```

補足：Claude Code をお使いの場合

スキルの起動はスラッシュコマンドまたは自然言語で行えます。

None

/project-recovery-v2

または、以下のように自然言語で話しかけてください。

- プロジェクトが炎上してます。診断してください
- 間に合わない。どうしよう
- どう着地させればいい？
- 診断結果を、実践シートに貼り付けられる形で出して

診断の流れと成果物

フェーズ	内容
Phase 1 インプット収集	資料の読み込みとヒアリングで、プロジェクト概要・一番の問題・現状・当初計画を揃える。契約形態（請負・準委任など）も確認する。2回目以降は「再診断モード」になり、前回アクションの消化状況も確認する。
Phase 2 診断	4ベースライン（スコープ・スケジュール・コスト・PMB）の評価、発火源4種の特定、3日後の最悪ケースの見積り。
Phase 3 出力	健康診断レポートと着地シナリオ比較表の2ファイルを出力。
Phase 4 実践シート入力支援（オプション）	診断結果から、実践シートに貼り付ける入力案を出力。セルごとの入力案に加えて、一括貼り付け用も出す。

補足：情報が足りない項目は、精度を盛らず「未確認（要ヒアリング）」と明記されます。精神論ではなく、根拠ベースで着地点を探すスキルです。

再診断モード

CAPDサイクルが1周したら（または重大イベントが発生したら）、同じプロジェクトを再診断します。既存の診断成果物があれば自動で再診断モードに切り替わり、出力の最上部に「前回診断との比較」セクションが追加されます。

既存の出力がある場合は、次の3つから扱い方を選びます。

- 累積保持（推奨）：最新版を上に出し、過去版は折り畳んで残す
- 日付付き新規ファイル：都度、新しいファイルとして保存する
- 上書き：既存を置き換える（明示的に依頼したときのみ）

出力形式

- md形式：成果物ごとに1ファイル
 - [プロジェクト略称]_健康診断レポート.md
 - [プロジェクト略称]_着地シナリオ比較表.md
 - [プロジェクト略称]_実践シート入力案.md

このスキルの位置づけ

CAPD（Check → Act → Plan → Do → 再Check）のうち、C（Check）フェーズを担います。着地シナリオ比較表はP（Plan）の成果物ですが、A（Act）の第一報に使えるよう先出しで生成します。実践シートのPart1～4は、CAPDの各フェーズ（C・A・P・D）に対応しています。

免責事項

【重要】本スキルの動作環境および免責事項

本資料は、Anthropic社が提供するAIモデル「Claude」専用のスキルセットです。他社AI環境での動作は意図しておりません。

本資料は、スキルの動作を補助するものであり、生成される回答の正確性、完全性、または特定の目的への適合性を保証するものではありません。

免責事項

当社は、本コンテンツおよびそれを利用した成果物について、その完全性、正確性、有用性を保証しません。利用者は自己の責任において本コンテンツを利用するものとし、利用の結果、利用者または第三者に生じた不利益、不具合、損害（法的責任、データの損失、業務中断を含む）について、当社は理由の如何を問わず、また予見可能性の有無に関わらず一切の責任を負わないものとします。

Provided by ANDGATE, Inc.